

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1 5 7 号	氏名	中 沢 由 華
学 位 審 査 委 員	主 査	上 平 憲	
	副 査	朝長 万左男	
	副 査	永 山 雄 二	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 複合細胞からなる生体への放射線の影響を詳細に理解するために同種異型の混合培養系を用いて、組織レベルでの放射線応答の機序を明らかにしようとするもので、目的は十分である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 特性が明らかにされた異なる系統の培養株を用いて <math>\gamma</math> 線照射後の DNA 損傷をリン酸化 H2Ax フォーカス評価法などを用いて検討し、DNA 損傷の軽減に介在する未知の物質のスクリーニング法も適切で、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、甲状腺上皮細胞と線維芽細胞の両細胞間に DNA 損傷を防御する相互作用があり、その作用は傍分泌性・Gap 結合非介在性のペプチドであることを解析し、その結果は将来の放射性防御剤への開発へと繋がる重要な知見であることを適正に解析・考察している。</p> <p>以上のように本論文は放射線応答に関する分子レベルの研究に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			